

とてもいい人だけれども、鼻がみつともなくてらそげすうかいなあ」って

「お花さん、お花さんが来なほりゃ、こげしだけん、それからくさの話を型によれば笑話の「巧智譚」にある「和尚と小僧」の中の「鼻が大きい」とされている話がある。

解説

語り手 片桐利喜さん
(明治30年生まれ)
昭和61年3月3日収録

あらすじ

昔あるところにお寺があつて、おっさんと小僧さんと二人ござつただと。そつで、そのおっさんのところにお花さんという女房が毎日通つて来ましたつて。

その小僧は気分が悪くて、どげぞして止めさせられんかと思つておつた。そげしたらその小僧は「いっさつて名だつた。で、「人がおっさん『一切万端、何にもしえ』て言つてだましてはいけないから、名を交えてかわはらんか」。

「おつ、交えちゃあど。

何ていふ名にするがよい

女房を来させないために

小僧の作戦

(西伯郡大山町高橋)



イラスト・福本隆男

「お花さん、お花さんが来なほりゃ、こげしだけん、それからくさの話を型によれば笑話の「巧智譚」にある「和尚と小僧」の中の「鼻が大きい」とされている話がある。

「お花さん、お花さんが来なほりゃ、こげしだけん、それからくさの話を型によれば笑話の「巧智譚」にある「和尚と小僧」の中の「鼻が大きい」とされている話がある。

「お花さん、お花さんが来なほりゃ、こげしだけん、それからくさの話を型によれば笑話の「巧智譚」にある「和尚と小僧」の中の「鼻が大きい」とされている話がある。

「お花さん、お花さんが来なほりゃ、こげしだけん、それからくさの話を型によれば笑話の「巧智譚」にある「和尚と小僧」の中の「鼻が大きい」とされている話がある。

「お花さん、お花さんが来なほりゃ、こげしだけん、それからくさの話を型によれば笑話の「巧智譚」にある「和尚と小僧」の中の「鼻が大きい」とされている話がある。

「お花さん、お花さんが来なほりゃ、こげしだけん、それからくさの話を型によれば笑話の「巧智譚」にある「和尚と小僧」の中の「鼻が大きい」とされている話がある。